

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2009-142874(P2009-142874A)

【公開日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-026

【出願番号】特願2007-324256(P2007-324256)

【国際特許分類】

B 3 0 B 9/18 (2006.01)

B 3 0 B 9/14 (2006.01)

B 0 1 D 29/25 (2006.01)

【F I】

B 3 0 B 9/18 Z A B

B 3 0 B 9/14 Z

B 0 1 D 29/30 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月29日(2010.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回転自在に配置したスクリュ軸と、該スクリュ軸の外周に螺旋状に設けたスクリュ羽根と、該スクリュ羽根を包囲するように設け多数の濾過孔を有する円筒状の濾過筒とを具備し、これらのスクリュ軸、スクリュ羽根及び濾過筒によつて囲まれる空間を前記濾過筒の上流側から下流側に向けて減少し、前記濾過筒の前記上流側から原料を投入し、前記下流側から圧搾された原料を押し出し、刃により切断して排出部から排出するスクリュプレスにおいて、前記排出部の前記スクリュ軸の周囲に、前記上流側から複数の第1の固定刃、複数の回転刃、複数の第2の固定刃を配置し、前記第1の、第2の固定刃は前記スクリュ軸に対し離隔的に配置し、前記回転刃は前記スクリュ軸の周囲に取り付けたことを特徴とするスクリュプレス。

【請求項2】

前記第1の固定刃は前記スクリュ軸の中心線方向に対し平行に向けて配置し、刃先を前記上流側に向けて形成したことを特徴とする請求項1に記載のスクリュプレス。

【請求項3】

前記回転刃は前記スクリュ軸の円周方向に対し傾斜又は同方向に向けて配置し、その刃先を前記スクリュ軸の回転方向と同方向に向けたことを特徴とする請求項1又は2に記載のスクリュプレス。

【請求項4】

前記第2の固定刃は前記スクリュ軸の円周方向に向けて配置し、刃先を前記スクリュ軸の回転方向と反対方向に向けたことを特徴とする請求項3に記載のスクリュプレス。

【請求項5】

前記第1、第2の固定刃は前記スクリュ軸の周囲に固定したリング部材の内側に設けたことを特徴とする請求項1～4の何れか1つの請求項に記載のスクリュプレス。